

六月議会、一般質問

健康文化都市の「やる気」論議！

六月定例市議会(第二四六回議会定例会)が六月十七日に開会。二十八日までの日程で開かれ、平成六年度南国市一般会計補正予算など十二議案を可決。二十一日から二十三日までの一般質問で山本(弘)、竹内、山崎、中村、今西、高島、田島、津洲、福田の各議員が質問に立ち、執行部の考え方をただしました。

総合計画の策定

新総合計画策定のスケジュールは、戸内の行政計画策定委員会、現状と課題そして政策の基本的な方向について集約をしていく段階である。

今後は、ワーキングチームによる自由討議・公開シンポジウム・専門的な学識経験者の助言を得ながら、手づくりの計画として素案づくりを進めていく。

素案作成後は、振興計画審議会に諮問、答申を経て十二月議会には提案できるように取り組んでいきたい。

健康文化都市

健康ライフプラン「優3ゆめ1」の実現に向けて、決意は、

まず、市民の「その気づくり」。「雰囲気づくり」をすすめるために、一つに新聞・テレビなどの協力を得て県内外にアピールし、「健康文化都市南国市」を印象づけ、まわりから注目されていることを自覚することによって推進力を高めていく。二つにシンボルマークを公募してつくる。三つに地域活動やイベントに健康文化都市への一環として位置づけ、「健康文化都市南国市」と「シンボルマーク」を頭につけた開催により市民への浸透を図る。

「優3ゆめ1」や「健康づくり」は、か・ん・た・んの説明を。市の特色として、三つの「優」を取り上げている。一つは、海・山・川、肥沃な大地、温暖な気候など優れた自然環境にあるまち。二つ目は「まほろば」の歴史を持つ優雅な印象を持つまち。三つ目は、地づくりに活動や暮らしが活発な市民の心根の優しさをもち、市民一人一人がこうした南国市にそれぞれ「優」を持ち暮していくことを「優3ゆめ1」とし、これに合わせ「優3ゆめ1」「健康づくり」は、か・ん・た・んをキャッチフレーズとした。

健康プランの生活環境施設はいつから取り組むか、広域あるいは単独でやるのか、早期実現を図らなければならぬものに、ごみ最終処分場がある、目標の平成十一年には竣工しなければならぬため、なんとか現存の埋立場を延命させたいと地元にもお願いをしている。一般的には広域で進めるのが望ましい。

オフィスパーク事業

現在の進捗状況、そして今後の進め方について。

用地取得は、A地区については完了、地域振興整備公団(地振公団)に引き渡したC地区は全域で価格入りの同意を終っている。B地区については、地区の理解を得て地権者と個別交渉中。三地区全体で前端的には九〇%の同意を得ており、今後、本契約に入り、九月には用地取得を完了したいという方向で努力をしている。農地転用については、六月初めに中四国農政局に事前協議を行っており、八月には許可の見通し、地振公団では秋ごろから五年程度で造成を進め、分譲は各地区の完成のつど予約分譲を含め早期分譲を行っていく計画である。

防災、環境などについての対応は、雨水については、A地区に調整池を設けて流量調整後、領石川に放流していく。B・C地区は、業務用地内に雨水貯留池を設け、各敷地ごとに流量調整後、道路下に埋設した下水排水管を経て領石川に放流を考えている。

環境については、具体的に領石川の両岸を親水公園に整備するほか、できるだけ公園緑地を配置して、周辺環境との自然の調和を図っていく。

空港問題 空港再拡張について、予算成立後のスケジュールは、基本計画、環境影響評価(環境アセスメント)、航空法手続き、実施調査の手順とされる。まず、環境アセスメントにかかわる県の地元説明会が始まる見通しなので、この進展の中で、騒音や周辺対策について住民や市議会と協議しながら対応をしていきたいと考えている。

民家空気調和機器(エアコン)の機能回復工事の個人負担について。この制度は、国七〇%、県五〇%、市五〇%、個人二〇%となっているが、個人負担を一〇%に軽減し、その分を県が負担することになっている。個人負担については、国に對して制度改善を求めていくことが筋であるが、今後県当局

さわやか(せ)ん



高藤 寛さん (東工業高校3年)

今年、日本オリンピック委員会が認定するオリンピック有望選手に選ばれました。これは体操では全国で3人だけ。体操に興味を持ち始めたのは、幼稚園のころ。お姉さんが体操クラブに入っていたからで、小学校で本格的に体操に取り組み始めました。

東工業の斎岡先生の指導のもと、小学校3年で早くも実力を発揮、全日本ジュニア強化選手に選ばれました。しかし、練習がきつくて何度もやめたいと思う時期もあったようですが、周りからの励ましや、将来のオリンピック選手を夢見て、頑張りを続けられたそうです。

6月に行われた、四国高校総体では個人総合で3連覇を達成。現在、全国高校総体へ向けて毎日、厳しい練習に励んでいます。やはり、斎藤君自身は、オリンピックへのキップを手にすることが、一番の目標のようです。地元の高校からぜひともオリンピック選手が誕生することを願い、みんなで応援しましょう。

可決された主な議案 平成六年度一般会計補正予算 補正予算規模は五千六十八万四千円。主なものは、野中、小集落地区改良事業費四千万四千円、健康文化都市づくり関連の地域保健推進特別事業費八百二十八万円など。南国市国民健康保険条例の一部を改正する条例(平成六年四月一日施行による地方税法施行令の一部改正に伴うもの)で、南国市国民健康保険税の低所得層に対する減額の対象となる所得の基準額について、四割削減の対象となる一人当りの所得基準額二十一万円を二十三万五千円に改正。南国市手数料条例の一部を改正する条例(国の基準引上げに伴い、南国市手数料条例におけるホームヘルプサービス事業費用負担基準を改正するもの、利用者世帯の階層区分G(生計中心者の前年度所得税年額が十四万一千円以上の世帯)八百八十円が九百円に、人事案件 任期満了に伴い、教育委員に小笠原巧氏(69)、固定資産評価審査委員会委員に唐岩白龍氏(64)をともに再任。人権擁護委員に橋田憲一氏(59)の再任、竹内隆造氏(59)の新任に同意。

とも協議をしていきたい。周辺地域の活性化策は、県下唯一の空港所在市として、臨空型産業の振興、国際化社会での地域活性化策などについて引き続き検討をしていきたい。

二十一世紀へ向けての図書館は、高度な情報化社会・ネットワーク社会へ対応する機能をもたなければならぬ。具体的にはコンピュータや視聴覚機器など新しい図書館の果たす機能は多面的である。将来は場所的にも機能的にも市民が利用しやすい図書館に向けて取り組んでいきたい。

ホームヘルプ事業の現状は、現在、この事業は社会福祉協議会及び自民荘に委託しており、五人の職員で対応している。昨年度は五十五人の方にヘルパーの派遣を行い、

このうち身体介護十八人、家事介護三十七人となっており、延べ三千八十四回の派遣を行っている。また、移動入浴車の派遣は百十八回となる。

中央東部地区環境行政連絡協議会の現況は、昨年度末、南国市と香美郡八か市町村による中央東部地区環境行政連絡協議会を結成し、研究・協議を行っている。これは県のごみ減量化再生利用区域推進計画に添ったもので、中央東部地区以外でもつくられている。平成十二年にはごみ自然化率を一〇%にする目標で取り組んでいる。

健康文化都市指定記念
～健康づくり講演会～

に母を見た

まさとし
允俊氏が語る

健康の秘訣」



待望の新図書館

旧四銀南国支店で再出発

これまでの市立図書館は老朽化が目立ち、危険な状態と
いうことから今年三月に閉館
旧四銀銀行南国支店を借り受
け、新図書館開設に向け進め
ていた内装工事が完了、七月
五日にオープンしました。
この新図書館、一階の閲覧
室には約二万五千冊を展示、
二階は書庫として約二万四千
冊を収蔵しています。このほ



か以前金庫だった場所を「お
はなしのへや」に改築。功見

や小学生のおはなし教室など
に活用できます。

子どもたちにお話しを

市立図書館おはなし会
市立図書館では、かみしば
いや絵本の読み聞かせ、スト
ーリーテリングなどのおはな
し会をしています。
【とき】 毎週土曜日（第5は
休み）午後2時～2時30分
【ところ】 市立図書館おは
なしのへや

ご一緒にボランティアの方
を募集しています。（現在六
人の仲間がいます）
※お問い合わせは市立図書館
（☎0469）まで

事業所ごみの
処理について

最近、ごみステーションへ
の事業所からの不燃ごみの排
出が増え、特に冷蔵庫・
洗濯機・テレビ・農業用機械
などの排出が目立ちます。
南国市では一般家庭生活よ

り排出されるごみのみを分別
に収集しており、事業所系不
燃ごみの処理に大変困って
います。
また、事業活動にともなう
ごみは自己処分をしなければ
ならないと法律で定められて
います。
ステーションへ出しても収
集できませんので、周辺の方
に迷惑をかけるだけでなく通
行邪魔になり大変危険です。
詳しい処理方法などお問い
合わせは、生活環境課（☎市
役所内線341）まで

食中毒を予防しよう

8月1日～7日は食品衛生週間

食中毒は7月、8月、9月に
集中しています。食中毒を防ぐ
ために、次のことに注意して夏
をのりきりしましょう。

- 手を洗いましょう
- 調理器具は清潔に
- 時間をおかず、早めに食べる
- 食品の内部にまで火を通す
- 冷蔵庫で保存するときは5℃以下で
- 冷蔵庫の扉は少なくしまし
よう
- 冷蔵庫の詰め込みすぎはやめ
ましょう

